

腹部超音波検査(造影剤使用)					S134
腹部造影エコー					担当部署
腹部造影エコー					生理
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		同意書あり			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→生理→腹部エコー→腹部エコー(造影剤使用)			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		該当なし			
検査受付時間		8:45~17:30			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	人体	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		ベッド可能			
検体受入不可基準		検査に同意を得られない患者			
保管検体の保存期間		特記事項なし			
検査結果・報告					
検査室の所在地		病院棟3階 中央検査部			
測定時間		各科による			
生物学的基準範囲		該当なし			
臨床判断値		該当なし			

基準値				単位	特記事項なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし
パニック値	高値	該当なし			
	低値	該当なし			
生理的変動要因		該当なし			
臨床的意義		B モードだけでは肝腫瘍や質的診断が困難な場合、造影剤を用いて検査を行なう。造影剤の成分はソナゾイドという微小気泡であり、身体に無害である。造影剤静注後、約 30 秒までに腫瘍性病変の血流診断を行ない、10 分後に肝全体を観察し、腫瘍性病変の有無を検索することができる。			